

●KCCJ 2022 年 教役者・長老修養会 (zoom による)●  
生きづらさをかかえつつ、新しいつながりを求める  
2022.11.23 (水・休) 午後 1 時～3 時 45 分 (参加費無料)



「エマオという村」 G. Rouault

「希望ってなんですか」と真剣に問うてくる青年がいます。教会にかかわる私たちも、日々、生きづらさを感じながら、忙しさにかまけてやりすごしているということはないでしょうか。貧困、格差、ほんとうは理由がはっきりしない忙しさ…。そのような日常でかかえる不安や苦しさを、教会は十分にすくえているだろうか。日頃、家庭でも、教会でも「声」にならないことの多い、それぞれの思いを持ち寄って話し合ってみませんか。

私たちは在日一世が生き抜いた絶対的な貧困の時代とは明らかに違う時代を生きていますが、誰もが人生の旅を旅する「旅人」として、経済的な貧困ばかりでなく、魂や心の貧困を経験しながら、わきでてくる切実な祈りをもっていることと思います。私たちの歴史に通底する切実な祈りをかえりみながら、どのような人びとの連なりをつむいでいけるのか、ともに考えてみませんか。

梁陽日氏 (大阪教会長老)：信徒委員長、同志社大学講師。精神・知的・発達障がいを対象にしたグループセラピーをはじめ、相談支援や心理療法と併せて加害者更生に専門家として取り組む。信徒委員長として全協の立て直しに奔走する。青年や信徒がおかれている「生きにくさ」の現状をみつめ、かけがえのない「いのち」をみつめるワークショップを行います。

金耿昊氏 (横須賀教会執事)：歴史学研究者。青年会全国協議会 2010 年度代表委員。近著、『積み重なる差別と貧困』(法政大学出版社、2022 年)が注目されている。全協の活動、教会生活、子育てなどの経験や、過去と現代の貧困のあり方をみつめることを通していまのような共同体が求められているのかお話しいただきます。

プログラム

\*修養会は zoom で行われます。所属教会、牧師・伝道師/長老/その他の別を記入して lee91sd@gmail.com に送付して下さい。zoom の ID などを折返しお知らせします。

1. 開会の祈り 開会のあいさつ/目的と流れの説明
2. 「生きづらさ」を見つめのりこえるためのワークショップ (梁陽日氏)
3. 小グループによるわかちあい
4. 発題「貧困の時代につながりを求める」(金耿昊氏)
5. 質疑応答・ふりかえり
6. 閉会の祈り

●問合せ：李相徳牧師 (三次教会)  
●申込み：以下のメールに所属教会、牧師・伝道師/長老/その他の別を記入してお申込下さい。 lee91sd@gmail.com

主催：在日大韓基督教会教育委員会 協力：信徒委員会